

そよかぜだより

2010 1月号

明けまして
おめでとうございませう。



1月10日、そよかぜ歯科も開院してから3年を迎えました。そして本年も『患者さま一人一人にあったオーダーメイドの医療』を目標に、スタッフ一同日々の診療に励んでいきたいと思っております。

流山市にお住まいの方は、一定の年齢になると市から歯周病検査のお葉書が届いてくると思いますが、柏市はないのかなという質問をこの間、受けましたので調べてみました。二十歳、三十歳、四十歳、五十歳になって月ごとの歯周病検査を受けられるようになってくるようです。近頃の保健センターなどでもお声かけがわかってきたり、お声をおかけ下さい。

DENTAL Crystal

この機械は心拍数、血圧、酸素飽和度を計る機械です。



写真の①のように人差し指に機械をつけます。

次に②のように左腕に器具を巻きます。この状態で治療を進めさせていただきます。

主に高血圧の方など全身疾患をお持ちの方や、歯科恐怖症の方に使っています。

治療の最中、患者さまの体に何かあった時いち早く気付けるようにしています。

安全に安心して治療を受けていただけるように務めております。



そよかぜ歯科医院の URL
<http://soyokaze-dc.com>



今回は、歯周病の全身疾患との関係についてお話しします。
歯周病は、今までも何回かお話ししたように、歯周組織における慢性的な感染症ですが、近年の研究から、歯周病が全身の疾患と深い関係がある事がわかってきました。

●歯周病と心疾患
心疾患は日本における三大死の原因の一つに挙げられる全身疾患です。
歯周病菌は血流に乗って心臓や他の臓器に感染する事が分かっています。
心臓の弁膜や内臓に発症する「細菌性心内膜炎」の大半は、**口腔内の細菌が原因**です。
また、冠動脈に感染すると、原因菌が産生する炎症性物質や毒素が血栓を作り、動脈硬化を進行させる可能性が指摘されています。血圧やコレステロール、中性脂肪の高い方は心疾患のリスクを少しでも軽減する為に、**口腔ケアの重要性を理解して頂く必要があります。**

●歯周病と糖尿病
血糖値が高い状態が長く続くと歯周組織に炎症を起しやすくなるだけでなく、**歯周病の進行を早める事が知られています。**
糖尿病の方は、**細菌感染しやすくなったり、治療力が低下し治療が遅くなる事もよく知られています。**糖尿病を治療する事で歯周病が改善しますが、**逆に歯周病を治療する事で血糖値が低くなるなど、糖尿病の状態も改善する事がわかってきます。**

●歯周病と誤嚥性肺炎
誤嚥によって歯周病菌が肺に入り、肺炎を引き起こします。高齢者や寝たきりの方に多く見られます。**口腔内の衛生状態と肺炎には深い関係があると言われており、お口の中を清潔に保つことがリスクの軽減につながります。**

それ以外にも**歯周病によって低体重児出産や早産などが引き起こされることがあります。**
体内に細菌が侵入する経路の大半は、お口を通して起ります。
お口の中をキレイにして、**歯周病を治療・予防する事は、全身疾患の予防につながるのです。**

今月のスタッフ紹介 五ノ井 啓子

はじめまして。昨年11月よりこちらで勤務している五ノ井(ごのい)と申します。
私は歯医者が大の苦手でした。痛い怖い思いをしてきたからです。
そんな私が、何故歯科衛生士になったかという、歯磨き指導をしてくれた歯科衛生士さんが、丁寧にやさしく接してくれたのがきっかけです。
私は皆様の歯周病、むし歯予防のお役に立てるように頑張っていきますので、宜しくお願い致します。



院長から



口は消化器の入り口である事から、重要な臓器の一つと捉えられた事があると思います。前述に挙げたように口の中にはいろいろな菌がいるか・いないか、によって健康状態を左右するとも言われています。すなわち、むし歯や歯周炎などは菌を主体として引き起こされる口の病気に罹患する事によって、二次的に全身的な疾患にまで波及する事が、近年明らかになってきています。

最近では、癌の遠隔転移にも歯周病の菌が関与していることが解明されてきております。この発見の元は、かかりつけ歯科医でしっかりと衛生指導や予防処置がなされている方が、癌に罹患した場口に遠隔転移する事が少ないことから始まりました。やはり歯周病、言わねば原因の口と癌に関しても同じように言われています。

このように歯周病の原因菌や、そのもつくりとした症状の進み方から見ても相関性があるように思えます。このことからお口の中の予防処置、検査は非常に重要だと思っております。